

造形通信

2026. 9月
NO.88
ひいらぎこども園

台風の到来とともに、夏の暑さも少し遠のいたように思われます。クーラーの冷氣よりも、自然の涼しい秋風に吹かれることの心地よさを心待ちにしています。赤とんぼが飛び交い、萩の花が咲き、虫たちの声が聞こえる『秋』の景色を思い浮かべながら、秋の到来をこどもたちと一緒に待ちたいものです。

造形活動は面白い！

0歳のこどもたちです。5色の絵の具をはじめは不思議そうに見ていますが、その感触に慣れていくうちにこどもたちはだんだんおもしろくなっていきます。手で触ってるうちに、足にもつき、体中にもついていきます。あらかじめ置いてあった、ボールや型も使いだしていきま。あっという間に、大きな色画用紙に様々な色や形が描かれていきました。

準備の大切さ！



こどもたちの活動を予想して、事前に準備することはとても大事なことです。活動が充実し、より発展するかどうかは準備によるところが大きいです。大きなホワイトシートを床に敷き詰め、かべには、こどもたちが立って描けるように大きな白い紙が用意されています。シートには、絵の具を5色に分けて、ローラーや小さなボール、型押しできる道具が、それぞれに置いてあります。



紙すきって楽しい！

オレンジ組が「紙すき」に繰り返し取り組みました。牛乳パックを水につけて、フィルムをはがし、残った和紙の部分をシュレッターで細かくしました。裁断されたものに水を入れて、すりこぎでぐるぐると碎いていきます。ぐるぐるとしているうちに、牛乳パックの素材がドロドロになってきます。準備OK！です。

体験を重ねることで

自分でできるようになる！

年長組が紙すきをしているのを見たオレンジ組。今度は、牛乳パックをはがすところから自分たちで挑戦！ミキサーを使わず、自分たちですりこぎでかき混ぜました。



牛乳パックを水につける



フィルムをはがす



シュレッターにかける



すりこぎでかき混ぜる

はじめは先生に教えてもらいながらやっていたこどもたちも、何回かやっていくうちに自分たちだけでどんどんやり始めました。フラワー紙も自分で置き方を工夫し、水きりも、台紙から和紙を外すのも、すべて自分で。半分ずつ色を変える工夫をすることももてきました。自分たちでどんどん活動を進め、工夫が広がっていきます。先生の出番は、ほとんどなくなってしまいました。



枠の中に和紙を入れる



半分ずつ色を変える工夫をしています



シートをはがす



しっかり手で押して水を抜く